

## 仕訳連携までの設定手順と流れ

本手順書は『電子債権の達人／手形の達人 for 奉行クラウド』で、勘定奉行クラウドと仕訳の API 連携を行う際の設定手順となります。

その他会計ソフトとの仕訳連携の場合は、設定手順が異なりますのでご注意ください。

### ■API 連携オプションの設定

まずは勘定奉行クラウドと連携するにあたって、当社オプション側での設定を行います。

設定は、“達人ソフトを終了した状態”で行います。ソフトを起動されている場合は終了の上、実行ください。

#### 《オプション設定画面の開き方》

◎ご利用製品が『電子債権の達人』『手形の達人 for 奉行クラウド』の場合

[Windows スタート]-[電子債権の達人]フォルダ-[電子債権の達人システムツール]を開きます。

◎ご利用製品が『電債の達人クラウド』の場合 (※クラウド版)

アプリ配信 URL より、「○○の達人システムツール」をダウンロードして実行します。

システムツールを起動し、[勘定奉行クラウドへの接続情報を設定する]ボタンを押下します。

表示されてきた画面で、サブスクリプションキーとアクセストークンを設定します。

サブスクリプションキーとアクセストークンは以下手順でご確認ください。

#### ※注意

[勘定奉行クラウドへの接続情報を設定する]ボタンがない場合は、“API 連携オプション”がインストールされていない可能性があります。

#### ◎サブスクリプションキーの確認

API 連携オプション DVD に「○○○○サブスクリプションキー.txt」ファイルが収録されています。

本ファイルに記載されている内容を、設定画面へコピー&ペーストします。

(※クラウド版の達人をご利用中の場合は、「クラウド API 連携キー通知.pdf」をメール通知させて頂いておりますので、そちらをご確認ください。)

## ◎アクセストークンの発行

①勘定奉行クラウドを起動して、画面右上の[セキュリティ]-[管理ポータル]-[外部サービス連携]-[連携アプリケーション]を開き、“アプリケーションの追加”欄の[連携アプリケーション]ボタンを押下します。

### アプリケーションの追加

業務連携

連携アプリケーション

②[アクセストークンの発行]ボタンを押下し、連携アプリケーション名を入力して登録します。

連携アプリケーション



連携アプリケーション名 必須 電子債権の達人

分かりやすい名前を任意に設定します。

OK

キャンセル

③アクセストークン欄の[発行]ボタンをクリックし、トークンを発行します。

発行されたアクセストークンを、設定画面へコピー&ペーストします。

アクセストークン i

未発行

発行

発行日時 —

発行者 —

オプションの設定は以上です。

次は達人ソフトを起動して、連携の設定を行っていきます。

## ■連携する会計ソフトの選択

メニュー：[総合]-[導入処理]-[1.会社情報登録]-[1.会社情報登録]-[財務会計]タブ

まずは連携する会計ソフトの選択を行います。

システム名称欄で▼から『勘定奉行クラウド』を選択し、[F5 登録]を行ってください。



## ■仕訳で使用する科目マスタを取り込む

メニュー：[総合]-[導入処理]-[1.会社情報登録]-[1.会社情報登録]-[財務会計]タブ-[接続先設定]ボタン

仕訳を作成する際に使用する科目マスタ（勘定科目や補助科目など）を、勘定奉行クラウドから取り込み登録します。

勘定奉行の法人一覧が表示されていることをご確認の上で[OK]を押下、マスタ取込画面では“取引先”以外にチェック☑を付けて、[OK]で取込します。



### ※注意

[接続先設定]ボタンが押せない場合や、本画面で法人一覧が表示されない場合は、API連携オプションの設定がうまく行っていない可能性が高いです。

## ■ 仕訳を作成する設定を行う

メニュー：[総合]-[導入処理]-[1.会社情報登録]-[1.会社情報登録]-[財務会計]タブ-[システム設定]ボタン

達人で仕訳を作成するには、仕訳伝票作成指定の設定を「◎作成する」にしておく必要があります。

(※デフォルトでは“作成しない”設定になっています。)

手形や電子記録債権（でんさい）等の管理内容ごとに、仕訳作成したい各てん末の設定を「◎作成する」に変更して[F5 適用]します。

## ■ 定型仕訳の設定を行う

達人で仕訳を作成する場合、データを登録する前に「定型仕訳」を設定しておく必要があります。

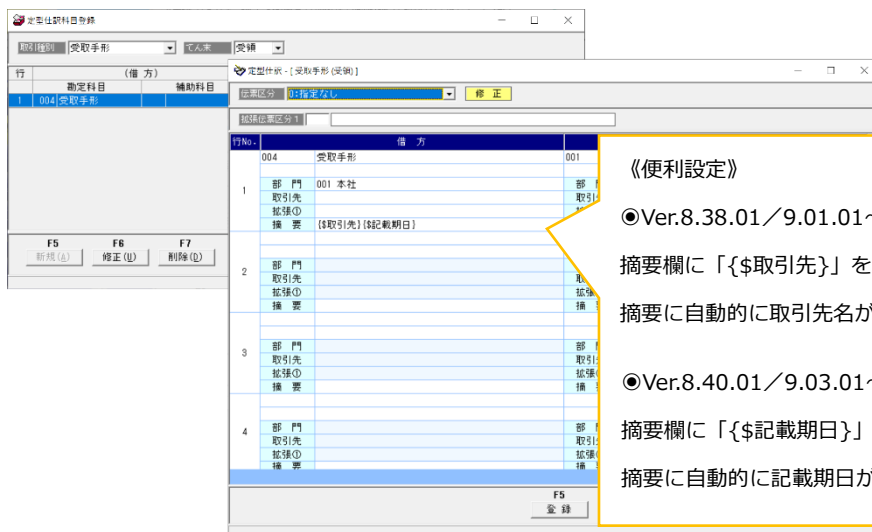
データ登録時に実際に作成される仕訳は、この「定型仕訳」の設定の内容が反映されて作成されます。

またこの設定は管理内容、各てん末によって設定メニューが異なります。

### ◎受領/譲渡/振出の仕訳

メニュー：[総合]-[導入処理]-[1.会社情報登録]-[1.会社情報登録]-[財務会計]タブ-[定型仕訳]ボタン

設定を行う取引種別/てん末を選択し、[F5 新規]から科目を指定し、仕訳情報を設定して[F5 登録]を行います。



《便利設定》  
◎Ver.8.38.01/9.01.01～追加機能  
摘要欄に「{\$取引先}」を設定することで、  
摘要に自動的に取引先名が出てくるようになります。  
◎Ver.8.40.01/9.03.01～追加機能  
摘要欄に「{\$記載期日}」を設定することで、  
摘要に自動的に記載期日が出てくるようになります。

◎支払手形決済/受取手形割引/決済の仕訳

メニュー:[総合]-[導入処理]-[2.銀行登録]-[3.銀行本支店仕訳科目登録]

取引銀行ごとに割引、決済の仕訳を設定します。

取引種別/てん末/銀行コード・支店コードを呼び出して[表示]→[F6 編集] から科目を指定し、仕訳情報を設定して[F5 登録]を行います。

《便利設定》

- ◎Ver.8.38.01/9.01.01～追加機能  
摘要欄に「{\$取引先}」を設定することで、摘要に自動的に取引先名が出てくるようになります。
- ◎Ver.8.40.01/9.03.01～追加機能  
摘要欄に「{\$記載期日}」を設定することで、摘要に自動的に記載期日が出てくるようになります。

◎電手や電子記録債権（でんさい）、ファクタリング等の債務決済/債権割引/決済の仕訳

メニュー:[総合]-[導入処理]-[2.銀行登録]-[5.会社銀行仕訳科目登録]

設定している会社銀行ごとに割引、決済の仕訳を設定します。

取引種別/てん末/会社銀行コードで呼び出して[表示]→[F6 編集] から科目を指定し、仕訳情報を設定して[F5 登録]を行います。

《便利設定》

- ◎Ver.8.38.01/9.01.01～追加機能  
摘要欄に「{\$取引先}」を設定することで、摘要に自動的に取引先名が出てくるようになります。
- ◎Ver.8.40.01/9.03.01～追加機能  
摘要欄に「{\$記載期日}」を設定することで、摘要に自動的に記載期日が出てくるようになります。

### ◎取引先ごとに仕訳を設定する場合

メニュー：[総合]-[導入処理]-[3.取引先登録]-[2.取引先仕訳科目登録]

取引先ごとに使用する勘定科目が違う場合や、仕訳に補助科目を出したい場合などにこちらのメニューから設定を行います。

取引種別/てん末/取引先コードで呼び出して[表示]→[F6 編集] から科目を指定し、仕訳情報を設定して[F5 登録]を行います。

取引先に仕訳を設定した場合は、  
[会社情報登録]メニューから設定した定型仕訳  
よりも、本メニューで設定した内容から優先し  
て反映されます。

以上で会計ソフト連携に必要な事前設定は完了です。

以降は、「仕訳作成→会計ソフトへ汎用データ連携」までの流れをご説明いたします。

### ■達人でデータを登録する

連携設定、定型仕訳等の設定が全て完了している状態でデータ登録を行うと、自動的に仕訳が作成されます。

手形番号: 1 | 新規 | 登録件数: 5 | 設定 | 印刷 | ヘルプ

振出人: 00000001 | 振出日: R05/02/15 | 振出額: 1,000,000

行No.	科目	借方	金額	税	科目	貸方	金額	税
1	004 受取手形		1,000,000	0	001 売掛金		1,000,000	0
	部門				部門			
	取引先	00000001 取引先1株式会社			取引先	00000001 取引先1株式会社		
	摘要	取引先1轉						
2	部門				部門			
	取引先				取引先			
	摘要							
3	部門				部門			
	取引先				取引先			
	摘要							

## ■ 勘定奉行クラウドで仕訳の確認と起票を行う

達人と勘定奉行クラウドで仕訳の API 連携を行う場合、達人で手形やでんさい等のデータを登録した際に作成された仕訳は、自動的に勘定奉行クラウドへ転送されています。

① 勘定奉行クラウドのトップ画面から起票予定欄を確認し、[業務連携〇件]ボタンをクリックします。



② 画面左のデータ選択欄から、「(アクセストークン発行時に設定した) アプリケーション名」を選択します。

[未起票]タブに処理状態欄が「起票待ち」の状態、仕訳データの内容がリスト表示されます。

<input type="checkbox"/>	処理状態	伝票日付	伝票合計金額
<input checked="" type="checkbox"/>	起票待ち	20 3 10	90,000
<input checked="" type="checkbox"/>	起票待ち	20 3 20	1,000,000
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			

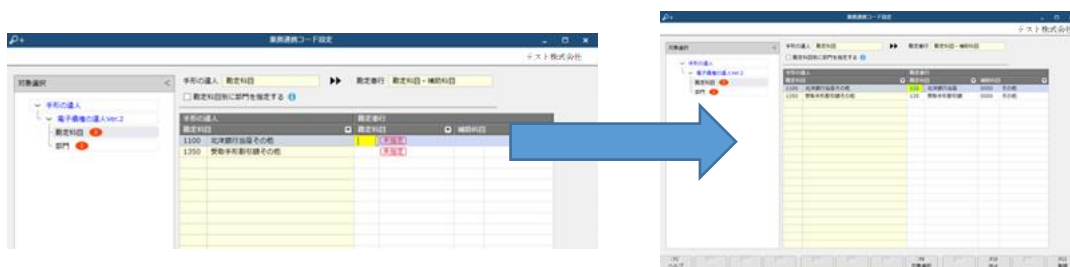
③ 登録（起票）する内容にチェック☑を付けて、[一括登録]ボタンを押下することで仕訳伝票として登録されます。

登録（起票）を行いたくないデータがある場合は、該当データを選択の上 [一括対象外]を押下します。

### 《※注意》仕訳に初めて連携を行う科目が含まれていた場合…

達人から勘定奉行クラウドへの仕訳連携時、初めて連携する科目が含まれていた場合はコードの紐づけ設定が必要です。

以下のような画面が出る為、奉行⇄達人の科目コード紐づけを行い、[F12 登録]しましょう。



会計ソフトとの仕訳連携までの設定と流れのご説明は以上となります。

ご不明点や設定ができない場合は、お気軽にサポートセンターまでお問い合わせください。

【お問い合わせ】

○サポートセンター○

TEL : 050-2018-2788

(月～金曜日/9:30～12:00、13:00～17:00)